

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 これまでの新型コロナウイルス感染症対策を今後にかすために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

昨年5月下旬に解除された緊急事態宣言が本年1月7日に再度発出されました。これまでの間、各会派からは要望書を提出し、市は補正予算を編成するなどして今までに経験のない事態に取り組んできました。

しかし、小平市では本年1月の1ヶ月間で感染者が約280人と急増し、いまだ収束へは向かっていません。今後の市民生活が少しでも安心して営めるよう、これまでの取り組みの検証と新たな提案が必要と考え、以下質問します。

1、小平市での感染者数が急増したことの原因についてどのように認識していますか。

2、市内2カ所にあるPCR検査の体制について、検査を受けるまでの手順と検査の結果が出るまでにどのくらいの日数がかかるかそれぞれお示ください。

3、在宅療養されている方に対し市としてどのような支援をしていますか。

4、コロナ禍の休業や廃業により収入が激減した方、断たれた方が増えています。住居確保給付金の支給件数と生活保護費の支給件数について、昨年1月から今年1月まで1ヶ月ごとの件数をお示ください。

5、新型コロナウイルス感染症のワクチンが開発され、市民にも接種が行われようとしています。このワクチンの安全性、有効性について市としてのご認識をお示ください。

6、コロナ禍でのDVや子どもの虐待が問題になっています。小平市での状況について、以下伺います。

① 一昨年1月から今年1月までの小平市女性相談室の相談件数を1ヶ月ごとにお示ください。

② 一昨年1月から今年1月までの小平市子ども家庭支援センターへの虐待などの相談件数を1ヶ月ごとにお示ください。

7、高齢者の介護施設等に向けては、PCR検査の補助として5,400万円が計上されています。在宅介護を担う方も定期的なPCR検査を受ける必要があると考えますが、市としてご見解は。

8、小平市中小企業等支援給付金事業としてキャッシュレス決済でのポイント還元や歳末、年始キャンペーンが行われています。みえてきた課題と成果についてお示ください。

9、コロナ禍における市民や事業者の意見、提案などの声をどのように把握していますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和2年2月4日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)